

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 43 回 LLW 放射能評価分科会議事録

1. 日時： 2021 年 5 月 6 日（木） 13 時 00 分～14 時 20 分

2. 場所： Webex ソフトを使用しての Web 会議（日本原子力学会主催）

3. 出席者（会議開始時点、順不同、敬称略）

- （委員） 高橋（主査）、相澤（副主査）、大畑（幹事）、泉田、尾崎、柏木、佐々木、竹田、田辺、中田、伴場、平井、松居、三宅、吉岡（15 名）
- （常時参加者） 荒巻、池戸、中瀬、野田、林^(宏)、宮田、村上、本山、脇（9 名）
- （常時参加者候補） 野崎（1 名）
- （傍聴者） 佐藤、鈴木（2 名）

4. 配付資料

- F10Ph2SC43-1 第 42 回 LLW 放射能評価分科会 議事録案
- F10Ph2SC43-2 人事について
- F10Ph2SC43-3 ピット処分及びトレンチ処分放射能評価講習会の実施結果報告
- F10Ph2SC43-4 中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順の NRA 技術評価対応者について（提案）
- F10Ph2SC43-参考 1 LLW 放射能評価分科会(F10Ph2SC) 委員名簿
- F10Ph2SC43-参考 2 標準委員会 技術評価運営細則
- F10Ph2SC43-参考 3 20210122 意見聴取会議事録

5. 議事

（1）主査挨拶，Web 会議における注意事項及び出席委員の確認

高橋主査より，Web 会議のメリットを活かして分科会を効率的に行いたいとの開会の挨拶があった。

大畑幹事より，Web 会議での注意事項について説明があった。また，会合開始時点で委員 17 名中 15 名が出席しており，定足数(12 名以上)を満足している旨報告があった。

（2）前回議事録案の確認

前回分科会の議事録案（配布資料 F10Ph2SC43-1）について，大畑幹事より，事前送付してコメントがなかった旨説明があり，コメントなく承認された。

（3）人事について

大畑幹事より，F10Ph2SC43-2 に基づき，1 名の委員（田中氏）の退任の報告があり了承された。

引き続き，1 名の委員候補者（小澤氏）の委員選任，及び 1 名の常時参加者（野崎氏）の新規

登録について、Webex の Chat 機能を用いてそれぞれ投票を行い、反対意見なく承認された。

(4) ピット処分及びトレンチ処分放射能評価講習会の開催結果について

大畑幹事より、F10Ph2SC43-3 に基づき、2020 年 5 月に日本原子力学会から発行された標準「ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順：2019」についての日本原子力学会主催の講習会が 1 月 27 日に Webex ソフトを用いて遠隔で開催（53 名受講）され、本分科会の関係者（高橋主査，大畑幹事，本山常時参加者，林^(宏) 常時参加者）が対応した旨の報告があった。特にコメント等はなし。

(5) L1 放射能評価標準の原子力規制委員会による技術評価に向けた対応について

中田委員より、F10Ph2SC43-参考 3 に基づき、1 月 22 日に開催された原子力規制庁主催の「第 15 回 新規制要件に関する事業者意見の聴取に係る会合」での L1 放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価の必要性についての電気事業者説明結果について報告があった。

意見聴取会の場合では、L1 規制の技術基準が未制定の状態での技術評価は時期尚早との原子力規制庁見解が示されたが、その後に電気事業者が原子力規制庁に技術評価を希望する範囲と必要性について追加説明を行い、技術評価実施についての理解は深まったとのことである。

次に、大畑幹事より、F10Ph2SC43-参考 2 に基づき、3 月 3 日開催の第 83 回標準委員会で学会事務局から提案のあった「標準委員会 技術評価運営細則案」が承認され、正式に制定・公表された旨の報告があった。技術評価への「対応者」は専門部会又は分科会の委員であることの必要性が明記されたとのことである。

上記を踏まえて、中田委員より、F10Ph2SC43-4 に基づき、他の学協会での対応状況も踏まえた、原子力規制庁による技術評価への本分科会からの対応者の候補者案（主査，副主査，幹事，事業者委員 4 名，メーカ委員 3 名の合計 10 名）と対応体制案について説明があり、特に異論等なく了承された。

上位委員会である原子燃料サイクル専門部会からの対応者選出の有無については、専門部会での議論を踏まえて決定いただく必要があるため、5 月 13 日開催予定の専門部会会合に本分科会から本日の分科会資料を用いて説明して審議いただくとの対応方針が確認された。

(6) その他

大畑幹事より、前回分科会でのコメントを反映して修正した 2021 年度の原子燃料サイクル専門部会標準策定 5 年計画（本分科会の活動計画を含む）が標準委員会で承認され、原子力学会の HP 上で公開されている旨の口頭報告があった。

また、次回会合については、5 月中に開催が予定されている原子力規制委員会での 2021 年度技術評価対象学協会規格についての審議結果等も踏まえて、必要な時期に開催し、原子力規制庁への対応計画について議論することとし、別途、幹事より開催日が提案されることとなった。

以 上